

「2023年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学文学部2年 西野 花梨

①学習成果

韓国語の勉強は大学に入ってから始めましたが、これまで韓国語でネイティブの方と会話をする機会がほとんどなく、今回のプログラムで韓国に行き語学堂で学習する前は自分の韓国語のスピーキング能力に自信がありませんでした。しかし、語学堂での授業を通し語学堂の先生方やクラスメイトと韓国語で会話を重ねることで自分の発音やアクセントの癖に気が付くことができ、スピーキング能力を向上させることができたほか韓国語で会話すること自体にも積極的な姿勢を持てるようになりました。また、会話によってリスニング能力も鍛えることができ、語学堂での修了試験のリスニング、スピーキング試験も自信をもって臨むことができました。

②海外での経験

日本ではなく韓国にいるからこそ、買い物や外食時に食事を注文するときなど、語学堂以外の生活場面でも現地の韓国人の方々と積極的に韓国語でコミュニケーションをとることを心がけました。韓国語でなかなか上手に相手に伝えられないこともありましたが、多くの方が私の拙い韓国語を理解しようと丁寧に聞いてくれ優しく対応してくださったほか、駅で道案内をしてくださった方、観光地で記念写真を撮ってくださった方など多くの方の優しさに触れることができ、韓国の人々の温かい心がとても印象に残りました。また、生活面、食事面など多くの面を通して韓国ならではの文化に直に触れることができました。

③プログラム内容

プログラムのメインである語学堂での学習では、初日のレベル分けテストの後にレベルごとに分けられたクラスで文法などを学習するため、自分のレベルにあった授業を受けることができたほか今の自分に不足している力を培うことができました。また、国際学部の授業の聴講やセミナーでの発表など、語学堂に通う生徒だけでなく延世大学の国際学部の学生達との交流機会も非常に多くあったため、語学堂以外でも様々な場所で多くの経験を得られるプログラムでした。このほか韓国に留学する前にあった事前授業も語学堂での学びに備えたものであったため、韓国に行く前からあらかじめ学習を進めることによって語学堂の学習もスムーズに進めることができました。

④進路への影響について

本プログラムに参加する以前は「留学は自分にはハードルが高い」と感じていましたが、実際に短期で韓国に行き韓国語を学ぶなかで海外の人と交流をする中で言語がいかに大切であるかという点に改めて気づかされ、短期留学だけではなく今以上に自分の言語スキルを伸ばして長期の留学にも参加してみたいと興味を持つようになりました。また、実際に韓国の人々と韓国語で会話することが非常に楽しく、ぜひ韓国語の勉強をこのプログラムで終わりにせず今後も継続的に学習を続け韓国の人々ともっと交流を持ちたいと思ったほか、本プログラム参加前から考えていた「(自分が所属する)文学部の学びにおいても韓国の歴史について学びたい」という思いがプログラムの参加を通してより強くなりました。

⑤韓国語で一言

한국어뿐만 아니라 한국의 문화와 역사도 배워 일본에서는 경험할 수 없는 귀중한 체험을 할 수 있었습니다!

⑥延世大学校国際学部の講義を聴講した感想

ジェンダーに関する授業は京都大学での授業でも受けたことがありましたが、海外でこの話題についての授業を受けたことはなかったため、韓国におけるジェンダー論について考えることができ、日本と比較をしながら授業

を受けることができ非常に勉強になりました。特に女性芸術家の歴史について取り上げた授業では女性の小説家や画家といった芸術家の登場の歴史と女性地位の変化の歴史を関連させた講義内容で、女性芸術家という面からジェンダーを考えたことは自分にとっては初めてであったためとても印象に残っています。また、儒教についても授業内で触れられており、日本と韓国では儒教とジェンダーの関連性に違いがあるのか以前から関心を持っていたため、この点についても先生から多くの話を聞くことができました。講義では国際学部ということもあり韓国ではない国や地域にアイデンティティを持つ学生が多くいたため、授業においても様々な学生の意見を聞くことができ韓国以外のジェンダーの考えについても触れることができる貴重な機会となりました。